



令和4年度 富山発達障害研究会 症例検討会・情報交換会



令和2年度の文部科学省の調査では小・中学校における不登校児童生徒数は196,127人(在籍児童生徒のうち2.0%)であり、近年は増加傾向にあります。不登校児童生徒の中での発達障がい割合は明確ではありませんが、関連はあるとされています。不登校への対応は、学校、教育支援センター等の公的機関だけでなく、民間施設やNPO等においても様々な取組がなされています。子どもたちの成長と自立を促す観点から、さまざまな選択肢を考えていきたいと思ひます。

日時:令和4年11月20日(日)14:00~16:30
会場:Zoomによるオンライン配信(要事前申し込み)

～発達障害児の不登校への選択肢～

開会あいさつ 森 昭憲氏 富山県リハビリテーション病院・こども支援センター

第1部 対談企画 / 発達障害と不登校(14:05~14:55)

南雲 明彦氏



森 昭憲氏

第2部 発達障害児の不登校への選択肢 (15:00~16:00)

I. 教育での取り組み

上田 昌寛氏 富山県西部教育事務所 生活指導主事

II. 民間での取り組み

水野 カオル氏 一般社団法人Ponteとやま 理事長

III. 福祉での取り組み

岡本 久子氏 社会福祉法人くるみ 理事長

IV. 医療での取り組み

纈纈 英貴氏 独立行政法人国立病院機構 富山病院 児童指導員

質疑応答 (16:00~16:30)

発表者・参加者とのディスカッション

閉会・まとめ 榎戸 芙佐子氏 医療法人社団 和敬会 谷野呉山病院

司会:山下 委希子氏 富山県公認心理師協会

参加対象:発達障がい児・者の支援者(公的民間は問いませんが守秘義務を負える方) 定員:100名

参加費:1000円 申し込みは、Peatixのウェブサイトを通じてチケットを入手していただきます。(11月1日より参加登録開始)

主催:富山発達障害研究会 [代表:森 昭憲(富山県リハビリテーション病院・こども支援センター)]

後援:富山県、富山県教育委員会

【南雲 明彦(なぐも あきひこ)氏プロフィール】

明蓬館高等学校、共育コーディネーターとして所属。相談支援センターみなみうおぬま、非常勤相談員。株式会社システムブレインの講師として全国各地で講演をしている。

の頃より不登校、引きこもり、精神科病院への入院などを経験する。21歳の時にLD(学習障害)の1つであるディスレクシア(読み書き障害)であることがわかる。

編著書に『庭に小さなカフェをつくったら、みんなの居場所になった。一つながる×つなげる ごちゃませカフェ』などがある。

【Peatixによる参加登録方法】(11月1日より登録可能です)

本研究会は、Peatixによる参加登録が必要です。

<https://toyama-ddmtg2022.peatix.com>



パソコン、もしくはスマートフォンより、上記アドレス、もしくはQRコードにアクセスして参加登録をお願いします。

参加登録にあたってPeatixのアカウントが必要です。初めての方は、Peatixの新規アカウントの作成(お名前、メールアドレス※、パスワード)をお願いいたします。

※当日アクセスするメールアドレスをご登録ください。